巻　頭　言

講演大会特集号に寄せて

太　田　英　二

第18回講演大会の運営に携わって，ようやくこの特集号の巻頭言を以て一段落となります。2年半ほど前に当時の会長から，第18回講演大会を担当することの含みで講演大会委員に加わることを要請され，突然のことで戸惑いましたが，錚々たるメンバーが委員会を構成しているとの説得に抗しきれずお引き受けした次第です。講演大会委員会が構成されてほぼ5年ほど経過していますが，それ以前には講演大会の企画運営のほとんどを担当理事が行っていました。委員会が講演大会の企画運営を分担するようになって以来，歴代委員長と委員諸氏またご関係の方の尽力により講演大会の企画運営も軌道に乗っています。講演大会は言うまでもなく学会で最も大切なイベントの1つであり，参加する会員のためにスムースに運営することが重要です。講演大会委員となって認識したことは，開催の1年半以上前には期日と会場を選択・決定しなければならず，このことを含めて企画運営を検討するには約2年前に講演大会担当予定者が参画している必要があるということです。

講演大会では，特別講演・招待講演をはじめ学会賞などの受賞講演，ポスターセッションの採用，また一昨年からはステューデント奨励賞が設けられるなど企画も増えて多彩となっています。招待講演などの企画については委員の専門が表面科学の各分野をカバーできるようにしなければなりませんし，講演大会について新しい考え方を導入するにも，新しい方に委員をお願いする必要性を痛感しています。

このところの世間の趨勢を反映してか講演大会の参加者と講演数がやや減り気味にもかかわらず，その中から多くの論文が投稿されており，この講演大会特集号に迅速に掲載されることで，今後の講演大会の発表もさらに充実したものになることを期待しています。

（慶應義塾大学理工学部）